

NYマーケットレポート（2014年12月16日）

NY市場では、原油価格やロシア・ルーブルの急落が一服し、反発したことを受けて、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、その後発表された米住宅関連の経済指標が市場予想を下回る結果となったことから、一時軟調な動きも見られた。ただ、原油やルーブルの反発に加えて、序盤に下落していた米株価が大きく上昇する動きとなったことから、投資家のリスク回避の動きが和らぎ、安全資産とされる円を売る動きが優勢となった。これを受けて、ドル円・クロス円は大きく上昇する動きとなった。しかし、安値から345ドル上昇したダウ平均株価が、終盤には一転して高値から350ドル以上下落する動きとなったことから、再び円への逃避需要が高まり、ドル円・クロス円は終盤に大きく下げる動きとなった。

2014/12/16 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.36	118.02	117.13
EUR/JPY	146.12	146.78	145.98
GBP/JPY	183.71	184.36	183.41
AUD/JPY	96.61	96.96	96.39
EUR/USD	1.2454	1.2465	1.2434

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.40	115.57
EUR/JPY	146.17	144.96
GBP/JPY	183.80	181.63
AUD/JPY	96.62	95.30
EUR/USD	1.2570	1.2445

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16755.32	-344.08
ハンセン指数	22670.50	-357.35
上海総合	3021.52	+68.10
韓国総合指数	1904.13	-16.23
豪ASX200	5152.34	-33.73
インドSENSEX指数	26781.44	-538.12
シンガポールST指数	3215.09	-79.05

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6331.83	+149.11
仏CAC40	4093.20	+87.82
独DAX	9563.89	+229.88
ST欧州600	328.88	+5.59
西IBEX35指数	10081.90	+178.00
伊FTSE MIB指数	18670.05	+591.08
南ア 全株指数	47397.44	-645.75

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	116.37	117.78	115.87
EUR/JPY	145.64	147.03	145.32
GBP/JPY	183.23	185.10	182.59
AUD/JPY	95.68	96.73	95.49
NZD/JPY	90.75	91.63	90.46
EUR/USD	1.2517	1.2556	1.2478
AUD/USD	0.8223	0.8259	0.8206

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17068.87	-111.97
S&P500	1972.74	-16.89
NASDAQ	4547.84	-57.32
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	13861.52	+156.38
🇧🇷 ボルサ指数	40225.08	-109.51
🇲🇽 ボベスパ指数	47007.51	-11.17

12/17 経済指標スケジュール

08:30	【豪】11月ウエストバック先行指数
08:50	【日】11月貿易収支
09:00	【豪】11月DEWRインターネット求人指数
09:30	【シンガポール】11月輸出
09:30	【シンガポール】11月電子機器輸出
15:00	【日】11月工作機械受注
16:00	【南ア】10月景気先行指数
18:30	【英】12月英中銀 議事録
18:30	【英】11月失業者数推移
18:30	【英】10月ILO失業率[四半期]
19:00	【欧】11月消費者物価指数
19:00	【欧】3Q労働コスト
19:00	【スイス】12月ZEW景況感調査
21:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
22:00	【ポーランド】11月生産者物価指数
22:00	【ポーランド】11月鉱工業生産販売
22:30	【米】11月消費者物価指数
22:30	【米】3Q経常収支
22:30	【カナダ】10月卸売上高
04:00	【米】FOMC 金融政策発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1193.90	-13.30
NY 原油	55.93	+0.02
CME コーン	406.00	-2.50
CBOT 大豆	1031.25	-14.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.55%	0.58%
3年債	0.99%	1.02%
5年債	1.52%	1.57%
7年債	1.84%	1.90%
10年債	2.06%	2.12%
30年債	2.69%	2.75%

12/17 主要会議・講演・その他予定

・イエレンFRB議長 定例会見

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 115.87 ユーロ/円 145.45 ユーロ/ドル 1.2554

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6166.76	-15.96	ダウ INDEX FUTURE	17018	-107
仏 CAC40	3941.73	-63.65	S&P500 FUTURE	1968.50	-14.70
独 DAX	9263.87	-70.14	NASDAQ FUTURE	4121.50	-37.75

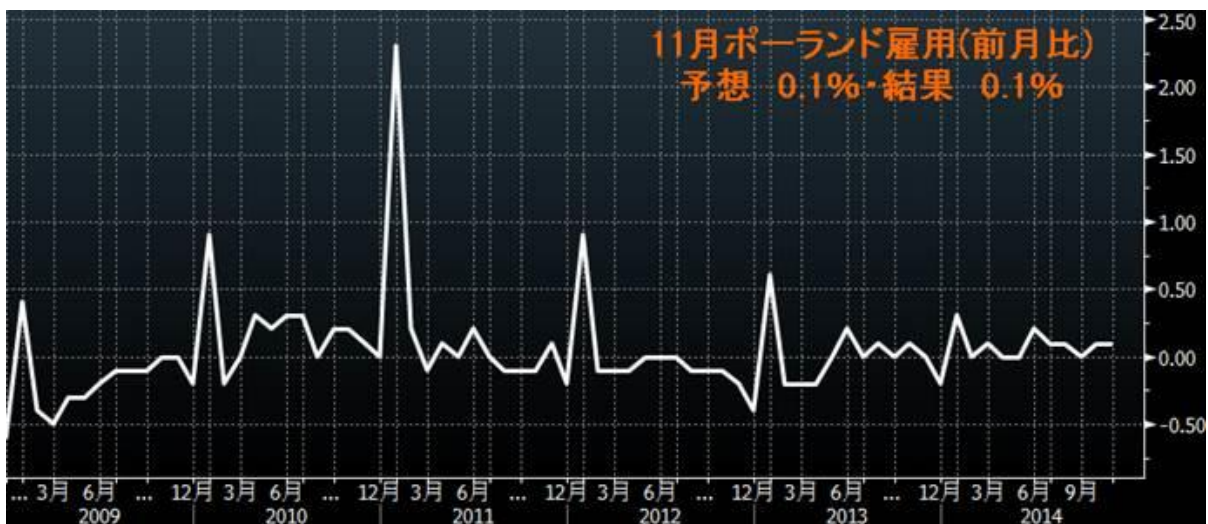
(出所:SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月ポーランド雇用(前月比) 0.1% (予想 0.1%・前回 0.1%)

11月ポーランド雇用(前年比) 0.9% (予想 0.9%・前回 0.8%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米住宅着工件数 102.8万件 (予想 104.0万件・前回 104.5万件)
 前回発表の100.9万件から104.5万件に修正

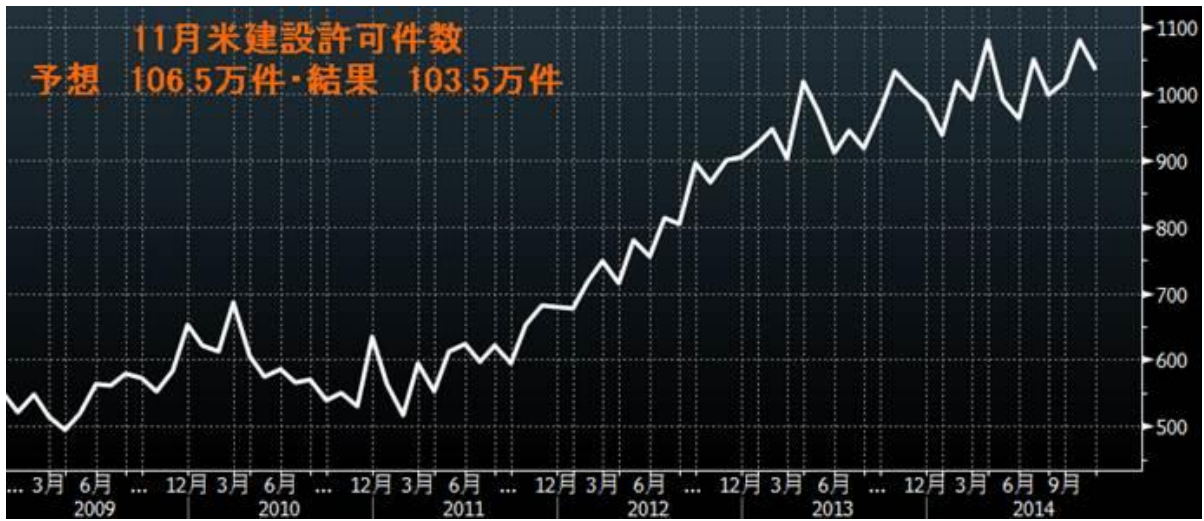
11月米住宅着工件数(前月比) -1.6% (予想 3.1%・前回 1.7%)
 前回発表の-2.8%から1.7%に修正

11月米建設許可件数 103.5万件 (予想 106.5万件・前回 109.2万件)
 前回発表の108.0万件から109.2万件に修正

11月米建設許可件数(前月比) -5.2% (予想 -2.5%・前回 5.9%)
 前回発表の4.8%から5.9%に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《米住宅着工・許可件数》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月
住宅着工件数	102.8	104.5	102.8	96.3	109.8	90.9	98.4
一戸建て住宅	66.7	71.6	66.3	64.1	65.2	59.3	63.4
集合住宅	35.1	32.9	36.5	32.2	44.6	31.6	35.0
許可件数	103.5	109.2	103.1	100.3	105.7	97.3	100.5
一戸建て住宅	63.9	64.7	63.1	62.7	63.1	63.4	61.5
集合住宅	39.6	44.5	40.0	37.6	42.6	33.9	39.0

前月比 (%)

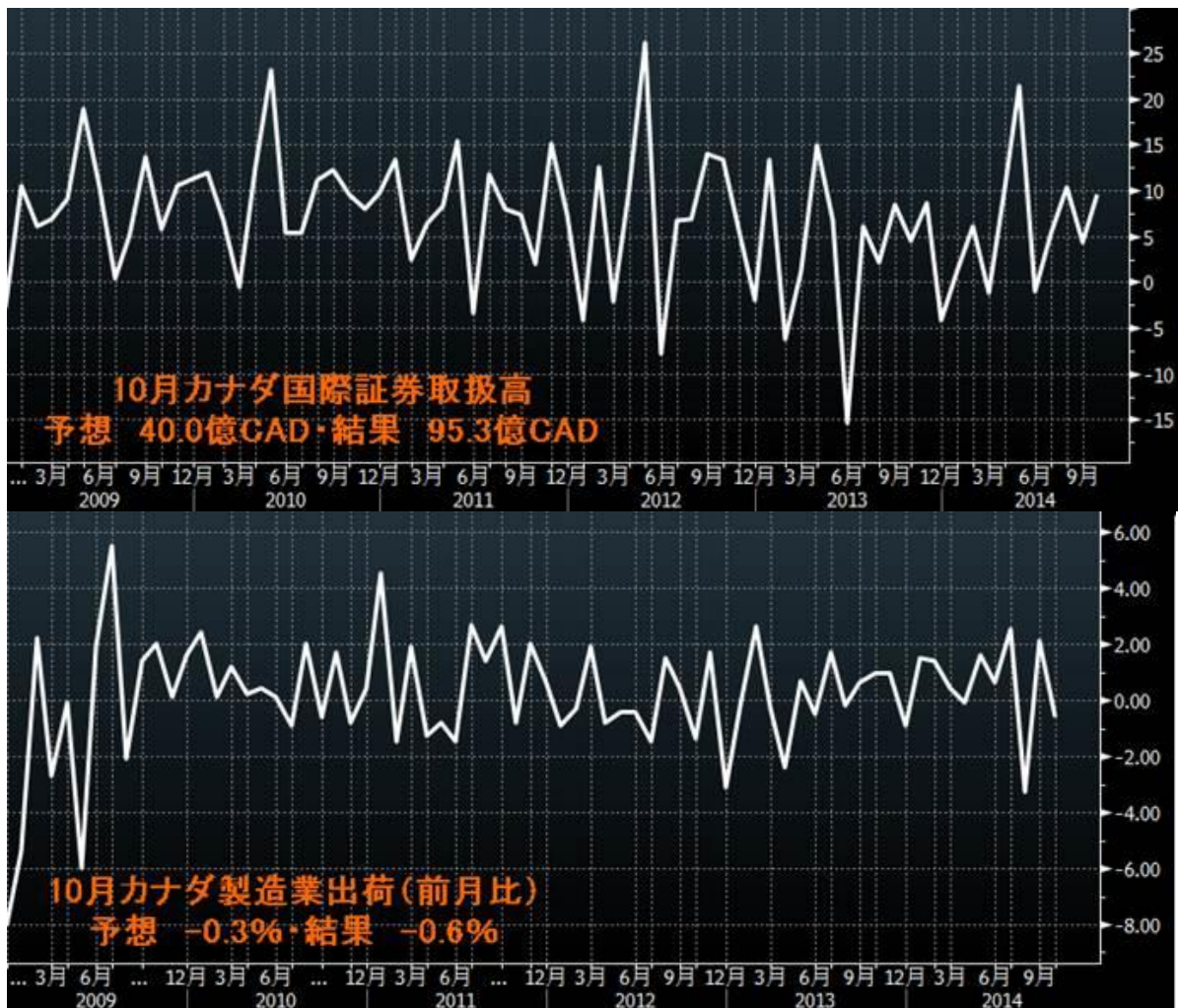
住宅着工	-1.6	1.7	6.7	-12.3	20.8	-7.6	-7.4
住宅建設許可	-5.2	-9.9	2.8	-5.1	8.6	-3.2	-5.1

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ国際証券取扱高 95.3億CAD (予想 40.0億CAD・前回 46.4億CAD)
 前回発表の43.7億CADから46.4億CADに修正

10月カナダ製造業出荷(前月比) -0.6% (予想 -0.3%・前回 -2.2%)
 前回発表の-2.1%から2.2%に修正



(出所:ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

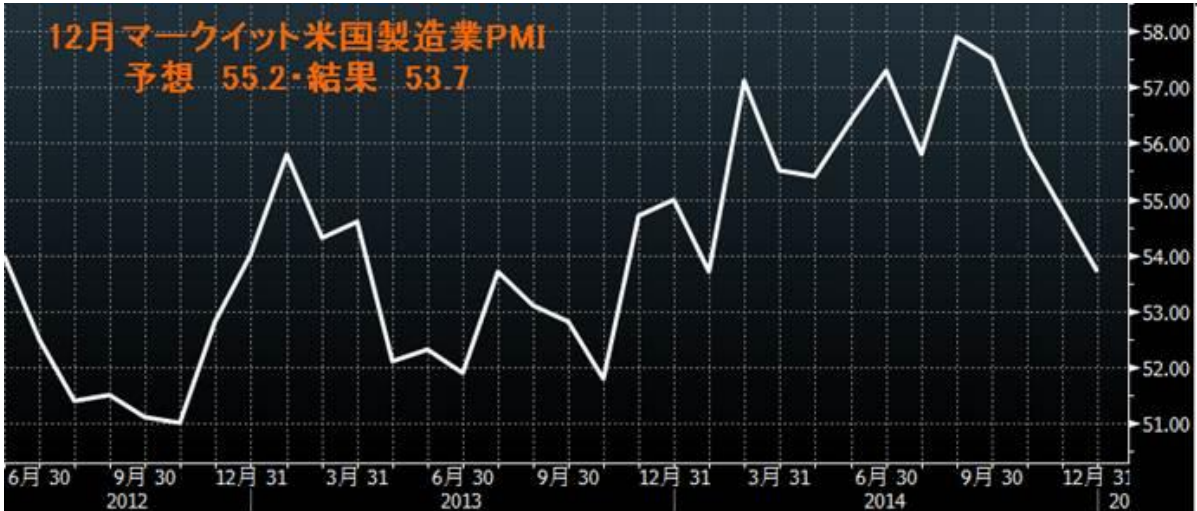
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17107.21	-73.63
ナスダック	4571.93	-33.23

(出所:SBILM)

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

12月マークイット米国製造業 PMI 53.7 (予想 55.2・前回 54.8)



(出所:ブルームバーグ)

0 : 30

◀ NY外国為替市場 序盤 ▶

序盤の外国為替市場は、原油価格の下落が止まらないことで、産油国の景気減速など世界経済の不安定化を懸念した売りが先行した。その後は割安感の出た銘柄を買う動きも出ており、下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で99ドル安まで下落したものの、その後はプラス圏まで上昇している。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 11月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-1.6%の102.8万件と3ヵ月ぶりに減少した。前年同月比では-7.0%。集合住宅がプラスに転じる一方で、主力の一戸建て住宅が3ヵ月ぶりのマイナスとなり、全体を押し下げた。雇用の改善などを背景に米住宅市場は緩やかな回復基調を保っている。

①一戸建て住宅が-5.4%の67.7万件、それ以外の集合住宅は+6.7%の35.1万件。地域別では、最大市場の南部が-19.5%、北東部は+8.7%、中西部は14.4%、西部は28.1%となった。

②着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比-5.2%の103.5万件と3ヵ月ぶりに減少となり、今年1月以来10ヵ月ぶりの大きな落ち込みとなった。前年同月比では-0.2%。

(2) 12月のマークイット米国製造業 PMI 速報値は53.7となり、市場予想の55.2を下回、前月の54.8から低下した。異例の寒波の影響を受けた今年1月以来の低水準に落ち込んだ。同指数は50が拡大と縮小の判断基準となる。

①生産は54.7(前月55.6)と今年1月以来の低水準、雇用は52.8(55.1)から7月以来の水準といずれも低下となったが、節目の50は18ヵ月連続で上回っている。

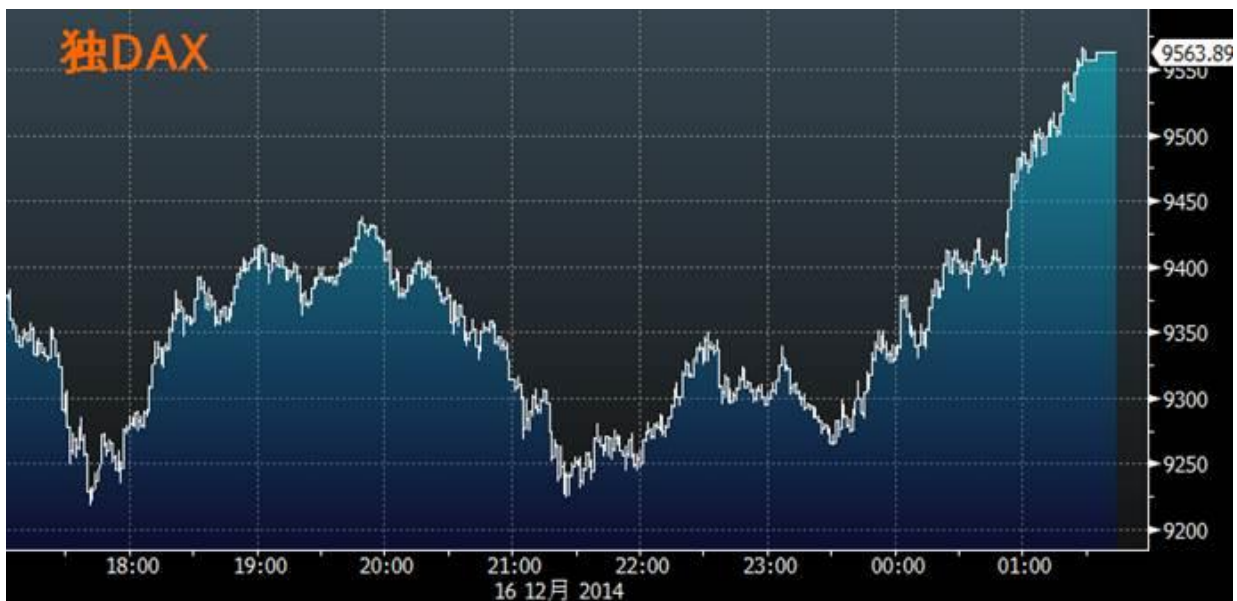
②マークイットの首席エコノミストは、生産、雇用が弱含んだことについて「今年これまでの極めて強い拡大ペースがやや一服したに過ぎない」と指摘。ただ第4・四半期の成長の勢いは鈍る公算が大きいとの見方を示した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6331.83	+149.11
仏 CAC40	4093.20	+87.82
独 DAX	9563.89	+229.88
ストック欧州 600 指数	328.88	+5.59
ユーロファースト 300 指数	1315.19	+24.54
スペイン IBEX35 指数	10081.90	+178.00
イタリア FTSE MIB 指数	18670.05	+591.08
南ア アフリカ全株指数	47397.44	-645.75

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ウクライナ問題でロシアが建設的な方向に進めば、米欧は対ロ制裁の緩和を考慮する用意があると米商務長官が表明したことなどが好感され、主要株価は終盤に大きく上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17344.54 (+163.70)、 S&P500 2012.47 (+22.84)、 ナスダック 4626.07 (+20.92)

《欧州のポイント》

①トルコのゼイベクチ経済相は、トルコリラ相場について「強力な介入」を必要とする水準ではないとの見解を示した。前日には過去最安値を更新したが、市場で均衡点が見出されると指摘した。経済相は、2015年に原油価格が平均で1バレル=75ドルの水準であれば、石油やガスのほぼ全量を輸入に依存するトルコの経常赤字が120億ドル縮小し、インフレ率は1.5%ポイント低下するとの見方を示した。

②イタリア国家統計局が公表した貿易収支統計によると、10月の貿易黒字は53億9700万ユーロとなり、前年同月の38億4700万ユーロから拡大した。輸入が前年比-1.6%、輸出は+2.9%となった。EU加盟国との貿易黒字は13

億 7300 万ユーロで、前年同月の 10 億 4200 万ユーロから増加した。EU 加盟国への輸出は+4.7%、輸入額は+3.1%となった。

③EU 統計局が発表した 10 月のユーロ圏貿易収支は、季節調整前で 240 億ユーロの黒字となり、市場予想の 196 億ユーロの黒字を上回る結果となった。季節調整後は前月比で輸出が-0.3%、輸入は-1.3%となった。

④スウェーデン中銀は、政策金利のレポレートを 0.0%で据え置いた。そのうえで、金利はこれまでの予想よりやや長期にわたり 0%にとどまるとの見通しを示した。据え置きは市場の予想通りだった。中銀は利上げを開始する時期を 2016 年の下期まで後ずれさせる姿勢を表明。2016 年第 4・四半期の金利平均の見通しは 0.5%と、前回の 0.75%から引き下げた。2017 年第 4・四半期の金利見通しも 1.5%と、従来の 1.75%から下方修正した。中銀はまた、利上げ開始の先送りといった措置により、金融政策をさらに緩和的にする必要があるとの見解を示した。

⑤ロシア中央銀行は、16 日の期間 1 週間のレポ取引（現金担保付貸借取引）で資金供給額の上限を 3 兆 6700 億ルーブル（556 億 7000 万ドル）に拡大したと発表した。中銀は、投機筋のルーブル売りを阻止するため、引き続きルーブルの流動性供給について慎重な姿勢を維持するとしている。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、原油先物相場が約 5 年 7 ヶ月ぶりの安値水準まで下落し、原油安が世界経済に打撃を与えとの懸念が強まったことから、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。また、中国の景況感を示す指標が低下したことも材料視された。買い一巡後は、米国株が上昇に転じたのにつれて利益確定売りも出て、上げ幅が縮小した。

午前の利回りは、30 年債が 2.71%（前日 2.74%）、10 年債が 2.08%（2.11%）、7 年債が 1.86%（1.90%）、5 年債が 1.53%（1.57%）、3 年債が 0.99%（1.03%）、2 年債が 0.55%（0.58%）。

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 13.30 ドル安の 1 オンス=1193.90 ドルで取引を終了した。

5 : 30

NY 原油は、中心限月が前日比 0.02 ドル高の 1 バレル=55.93 引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1193.90	-13.30
NY 原油	55.93	+0.02

（出所：SBILM）

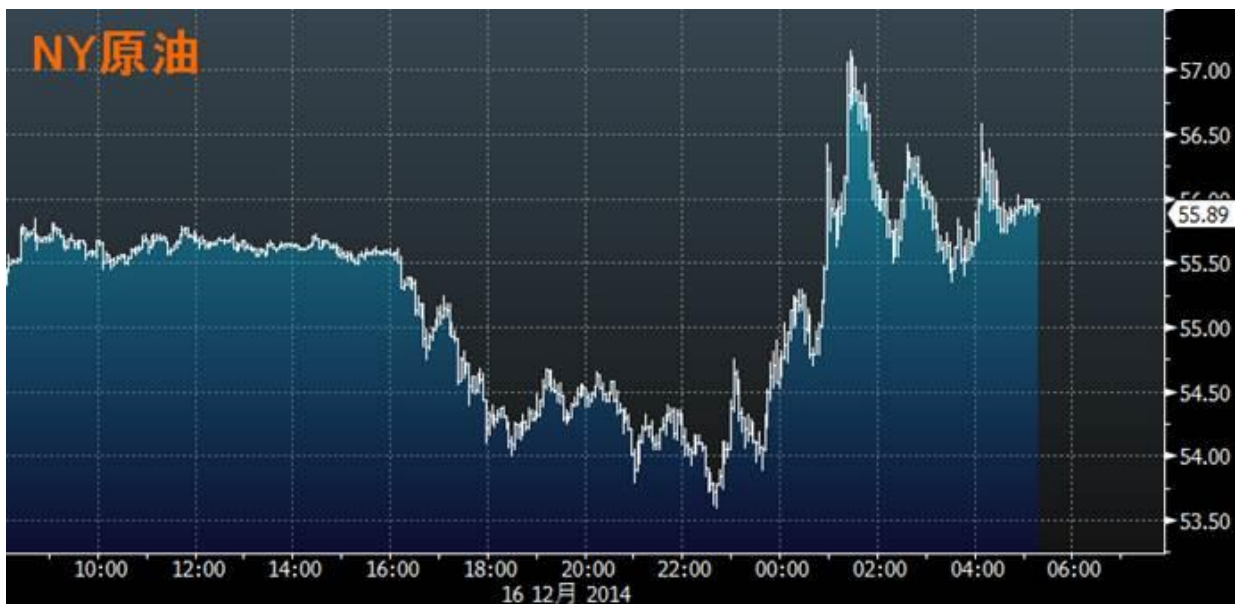
◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、原油安やルーブル急落を背景に、投資家のリスク回避志向が強まり、比較的 안전한資産とされる金の買いが先行した。しかし、その後は原油や米国株が上昇したのにつれて売りが優勢となった。米 FOMC の結果発表を控えて利上げ前倒しへの警戒感が広がったことも圧迫材料となった。



◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、世界景気の減速に伴ってエネルギー需要の低迷が続くとの懸念や、OPEC（石油輸出国機構）は減産を急がないとの見方を背景に売りが加速した。一時、1バレル=53.60ドルに下落し、2009年5月以来、約5年7ヵ月ぶりの安値を更新した。しかし、その後は最近の急落の反動で買い戻しの動きが広がり、結局プラスで引けた。



主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17068.87	-111.97	17427.44	17067.59
S&P500種	1972.74	-16.89	2016.89	1972.56
ナスダック	4547.84	-57.32	4645.19	4547.31

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、原油価格の下落が止まらないことで、産油国の景気減速など世界経済の不安定化を懸念した売りが先行した。しかし、その後は割安感の出た銘柄を買う動きも強まり、主要株価は大きく上昇する動きとなった。ただ、FOMC を控えて、その後はやや上値の重い動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、前日比で 99 ドル安まで下落する動きとなった。その後は、大きく上昇し、一時前日比で 246 ドル高まで上昇する動きとなった。ただ、午後に入ると上値の重い動きとなり、引けにかけて上げ幅を縮小する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	116.37	117.78	115.87
EUR/JPY	145.64	147.03	145.32
GBP/JPY	183.23	185.10	182.59
AUD/JPY	95.68	96.73	95.49
NZD/JPY	90.75	91.63	90.46
EUR/USD	1.2517	1.2556	1.2478
AUD/USD	0.8223	0.8259	0.8206

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、それまで下落していた原油価格やロシア・ルーブル、欧米の株価が大きく反発する動きとなったことから、リスク回避の動きが和らぎ、円を売る動きが優勢となった。そのため、ドル円・クロス円は大きく上昇する動きとなった。ただ、FOMC を控えて様子見ムードも出始めており、午後にはやや上値の重い展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。